



2023年7月24日

各位

会社名 株式会社 L e T e c h
(コード番号：3497 東証グロース)
住所 大阪府大阪市北区堂山町3番3号
代表者 代表取締役社長 平野 哲司
問合せ先 取締役経営企画本部長 松木 高茂
TEL. 06-6362-3355

通期業績予想の修正及び法人税等調整額（益）の計上並びに 配当予想の修正（復配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、2023年3月17日付「通期業績予想の修正（利益額の上方修正）に関するお知らせ」において公表いたしました、2023年7月期（2022年8月1日～2023年7月31日）の通期業績予想を修正することの決定、及び配当予想の修正を行うことといたしました。また、2023年7月期末決算において法人税等調整額（益）を計上する見込みであるため下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

2023年7月期 通期業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,210	百万円 1,330	百万円 710	百万円 700	円 銭 145.74
今回発表予想 (B)	16,027	1,446	851	1,158	248.58
増減額 (B-A)	△2,182	116	141	458	—
増減率 (%)	△12.0	8.7	20.0	65.5	—
(ご参考) 前期実績 (2022年7月期)	18,202	△3,232	△3,957	△4,688	△1,470.04

(通期業績予想の修正の理由について)

当社の不動産ソリューション事業において、当初想定していた不動産販売案件の一部が翌期以降の売却となったことから、前回発表予想時から売上高は減少することとなりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い国内旅行の活発化・インバウンド需要の回復を背景に、当社の保有するホテル・民泊物件の稼働が想定以上となり、高い利益率によって事業全体の利益を押し上げることが出来ました。また、その他販管費の圧縮等により営業利益、経常利益は前回発表予想を上回る見込みです。

なお、2022年7月期より将来の課税所得を見積もることが出来ないため、繰延税金資産の回収可能性については保守的な処理により全額取り崩すこととしておりました。2023年7月期においては業績が回復し、正

常な事業活動により継続的な将来収益を見込むことが可能であると判断したため、2023年7月期末決算に2022年7月期の繰越欠損金を含めた繰延税金資産の計上を行うことといたしました。それにより、法人税等調整額を△303百万円計上する見込みであるため、当期純利益については前回公表予想から大きく上回る見込みです。

(注) 上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		—	—
今回修正予想		32円00銭	32円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2022年7月期)	0円00銭	0円00銭	0円00銭

(配当予想の修正の理由について)

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題と認識しており、収益力の強化や事業基盤の整備を実施しつつ、内部留保の充実状況及び企業を取り巻く事業環境、経営成績等を総合的に勘案したうえで、株主の皆様に対して安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針としております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響による業績悪化に伴い、誠に遺憾ながら、前期2022年7月期は無配となり、株主の皆様には、大変なご迷惑をおかけしておりました。

当社は「1. 通期業績予想の修正について」に記載のとおり、業績回復を果たし、2023年7月期の業績予想及び今後の事業展開や財務状況等を総合的に勘案した結果、復配に向けた環境が整ったものと判断し、1株当たり期末配当金予想を32円として公表させて頂くことといたしました。

当社は今後も株主還元を上場会社としての重要な責務であると認識し、企業の持続的な成長を果たすと共に、株主の皆様への安定的かつ継続的な利益還元の実現に努めてまいります。

以上